

日本PTA全国研究大会に参加して

8月23日～24日の日程で、第67回日本PTA全国研究大会(兵庫大会)が開催されました。はごろも小学校メンバーとして、上間和美PTA会長・友利亘副会長及び私の3名が参加しました。宜野湾市PTA連合会総勢13名の中に加わり、実り多き研修となりました。

日程の初日は、移動日で那覇空港を出発し、神戸空港に到着し、ポートライナー(モノレール)で三宮に入りました。



翌日に行われた大会一日目は、10カ所の分科会が行われましたが、私は特別第2分科会に参加しました。

「家庭・地域とともにある学校づくりをめざして～コミュニティ・スクールという仕組み～」というテーマの下、明石市民会館で行われた分科会は、これからの学校のあり方について参考となることはいっぱいありました。

まず始めに、小西哲也氏(兵庫教育大学教職大学院教授)による基調講演が行われました。小西氏は、「PTAの役割の一つとして、子どもを育てるうえで大切なことは、保護者が地域とのつながりを意識することである。地域の学校として、地域社会を取り巻く保護者と地域住民、つまり、おとなとおとなのつながりが大切である。その意味で、コミュニティ・スクールの導入している学校は、つながりやすい」と主張されました。

また、コミュニティ・スクールには、「①学校運営」「②学校支援」「③地域貢献」の3大機能が、学校を通して、地域貢献につながる取組を進めていくことが、未来を担う子どもの育成につながることを示唆されました。

次に、基調講演後のパネルディスカッションでは、小西哲也氏がコーディネーターとなり、パネリストによる討論形式で行われ、聞き応えのあるものでした。パネリストとして、西祐樹氏(文部科学省地域学校協働活動推進室専門職)、大谷宗雄氏(二見北まちづくり協議会会長・自治会長)、赤松弘一氏(明石市立二見北小学校校長)前田亜樹氏(下関市立桜山小学校PTA会長)、齋藤芳尚氏(日本PTA全国協議会前副会長)の5名の方がそれぞれの立場から、コミュニティ・スクールの取組について熱く語り合いました。

特に感銘を受けた考えは、地域代表として参加された大谷宗雄氏の意見でした。大谷氏は、「コミュニティ・スクールが導入された時、まず初めに考えたこと・本音は、コミュニティ・スクールって何やねん?、また、新しい事業をやらされるのか?という消極的な考えだった。しかし、学校運営協議会での話し合いを通して、コミュニティ・スクールの意味がだんだん、理解できるようになった。回を重ねる中で地域や保護者がさりげなく関わることが大事だということを感じた。二見北では、まちづくりの一環として、コミュニティ・スクールに取り組んでいる。職業訓練(職場体験)や地域祭を中心に、さりげなく地域が学校に関わっている」と力説されました。

私は、大谷氏の主張から、「長い目で保護者と地域がつながり合い、さりげなく、無理なく、地域の活動を通して子どもを育てることがコミュニティ・スクールである」と感じました。

大会二日目は、神戸市ワールド記念ホールで全体会が行われました。記念講演は、メンタリスト・Daigoさんによる講話でした。「子育ては、心理学でラクになる」というテーマで参加者と一体となった、ライブ感いっぱいの講話が聴衆の目と耳と心をくぎ付けにしました。テレビで見るマジシャンのようなイメージとは真逆で、優しさやぬくもり、お母さんの支えがあって今の自分があることを穏やかな口調で話されたのが心に残りました。はごろも小学校代表として日P大会という貴重な機会を与えて頂きました保護者の皆様、有り難うございました。

学校通信六号 (はごろも小学校)

はごろも

令和元年 九月二日
発行者 校長 仲村 宗男

通録30号



NPO法人沖縄コンベンションシティ会20周年記念贈呈式

7月8日、「沖縄コンベンションシティ会」の設立20周年を記念し、当会・前森一夫理事長より、はごろも小学校、大山小学校、真志喜中学校に記念品が贈呈されました。

コンベンションシティ会の「地域貢献」を目的に宜野湾市役所・庁議室で開催された贈呈式には、松川正則市長を始めとする市関係部局の皆様、知念春美教育長が同席されました。はごろも小学校には、「テント一式」の目録が贈呈され、納品される予定になっています。

保護者の皆様には、11月の運動会にお披露目していきたいと考えています。コンベンションシティ会の心温まる取組に深く感謝申し上げます。



九月三日
九月十日
九月十四日
九月二十日
九月二十七日
九月三十日

九月の行事

授業参観(夏休み作品展)
研究授業(三年五組)
他の学級は、四時間授業
・(水) 九月十三日(金) 四時
・(水) 九月十三日(金) 四時
伊平屋島体験宿泊学習
敬老の日(公休日)
秋分の日(公休日)
プール納め

学校通信4号に関する訂正

学校通信4号において、前年度のむし歯治療率を80.6%と示しましたが、表現に誤りがありました。

正しくは、むし歯のない児童(処置完了+むし歯なし)が80.6%でした。訂正し、お詫び申し上げます。

なお、むし歯のない児童80.6%は、全国平均や県平均と比較しても高い数値となっています。

保護者の皆様には、お子様の歯の健康について、ご理解と継続的な通院にご協力頂き、感謝申し上げます。



夏休み作品 (9月4日)

はごろもっ子の活躍

☆ スポーツ面

- 第39回新報児童オリンピック陸上
 - 5年女子走り幅跳び3位
 - 5年男子走り幅跳び5位
 - 5年女子走り幅跳び7位
 - 5年女子4×100mリレー6位
 - 5年男子4×100mリレー7位
- 第39回新報児童オリンピック水泳
 - 男子200mリレー低学年1位・メドレーリレー2位
- 第14回会長杯市内小学生バレーボール大会
 - Aパート優勝 はごろもクラブ
- 第31回タイムス全沖縄少年少女空手道大会
 - 優良賞 3年男子
- 第33回市内小学生バレーボール大会
 - 大山クラブAパート・CDパート優勝・Bパート準優勝